



NIPPON BEARING

2月25日付 日本経済新聞広告 解答と解説

【問題】 物流業界が需要拡大する背景として正しくないキーワードは？

- ① EC市場の拡大 ② ジャストインタイム生産システム ③ 少頻度・大口配送

【答え】 ③ 少頻度・大口配送

【解説】

近年、日本国内の物流は、まとめて運送する《少頻度・大口配送》から、必要な量の荷物を都度運送する《多頻度・小口化》へと変化しています。この変化の背景にあるのが、EC市場の拡大や、製造業に於けるジャストインタイム生産システムの普及です。

中でも、EC市場の拡大により増加したものが、宅配便の取扱件数です。

2015年から2019年までの5年間で、約5億7800万個も増加しました。更に、コロナウイルスの大流行が始まった2020年の1年間は、前年より約5億1300万個の増加と、1年間でほぼ5年間の増加量に相当する取扱件数の増加となりました。

コロナ禍で、ネット購入の増加のみならず、会えない人への贈り物など、より一層宅配便の利用が増えたと考えられます。

※「令和2年度 宅配便等取扱個数の調査及び集計方法」国土交通省 Web サイト

(<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001418260.pdf>) よりデータ引用

荷物件数が増加した一方で、運送事業での労働力不足や、多頻度・小口化や再配達による物流効率の低下など、物流業界は数多くの問題を抱えています。

問題解決のために、さまざまな解決策が講じられており、《保管型の倉庫から、集配送等も可能な複合的な物流施設に変化させる》ことや《宅配便の再配達を減らす》ことも、そのひとつです。

好きな時に荷物が送れて、欲しいものがいつでも手に入る生活。当たり前のように豊かな暮らしが出来ているのは、安定した物流のおかげです。環境対策や災害時への対応など、物流に求められることは年々増えており、物流業界の今後の変化も期待されます。

※「物流を取り巻く動向について」国土交通省 Web サイト

(<https://www.mlit.go.jp/common/001354692.pdf>) 参考

【企画・協力：榊学研メソッド】